

## 後期高齢者負担率の計算

### 計算式(厚労省資料より)

- (1)2008、2009年度における後期高齢者の負担割合:10%  
 (2)2010年度以降の後期高齢者の負担割合:2年ごとに以下のとおり改定。

$$10\% + 2008年度の若人負担割合(約4割) \times 2008年度から改定年度までの若人減少率 \times 1/2$$

$$\text{※若人減少率} = \frac{\text{08年度の若人人口} - \text{改定年度の若人人口}}{\text{08年度の若人人口}}$$

### 2025年の保険料負担率試算(2006年12月推計を使用)

- ① 08年の75歳以下の若人人口 = 114351千人  
 ② 改定年度2025部の若人人口 = 97603千人  
 ③ ①-②=16748人  
 ④  $16748 \div 114351 = 0.1464$  (若人の減少率)

$$0.44(08年の若人負担割合) \times 0.1464 \times 0.5 = 0.032208(約3.2\%)$$

$$10\% + 3.2\% = 13.2\%$$

※他の年度は上記と同様に計算。

社会保障人口問題研究所 2006年12月人口推計より

	総数(千人)	0~19歳	20~64歳	65~74歳	75歳以上	後期高齢者負担率
2008年(H20)	127,568	23,177	76,180	14,994	13,217	10%
2015年(H27)	125,430	20,823	70,826	17,329	16,452	11%
2025年(H37)	119,270	16,925	65,991	14,687	21,667	13.2%
2035年(H47)	110,679	14,486	58,945	14,897	22,352	15%

保団連政策部 試算

**後期高齢者医療費の負担割合と、平均保険料の試算 1**  
(2008年の医療給付費10.8兆円を母数にした場合)

○10.8兆円を対象1300万人で割った一人当たり医療給付費 約83万円  
 ○厚労省が今後の一人当たり医療給付費の伸びを3.1%と設定しているので、  
 毎年3.1%ずつ増やして計算。

	一人当たり医療給 付費万円	75歳以上高齢者人口(人)	医療給付費(円)	高齢者負担割合	平均保険料(円)	2008年平均保険料 との比較
2008年(H20)	83	13,217,000	10,790,000,000,000	10%	81,637	
2015年(H27)	102.8	16,452,000	16,912,656,000,000	11%	113,080	約1.4倍
2025年(H37)	139.5	21,667,000	30,225,465,000,000	13.2%	182,745	約2.2倍
2035年(H47)	189.3	22,352,000	42,312,336,000,000	15%	283,950	約3.5倍

保団連政策部 試算

**後期高齢者医療費の負担割合と、平均保険料の試算2**  
 (2008年の一人当たり医療給付費72万円を母数にした場合)

・2008年の一人当たり給付費は保険料の72000円×10＝72万円

・厚労省が今後の一人当たり医療給付費の伸びを3.1%と設定しているので、毎年3.1%ずつ増やして計算。

	一人当たり 医療給付費(万円)	75歳以上高齢者人口 (人)	医療給付費(円)	高齢者負担割合	平均保険料(円)	2008年平均保険料 との比較
2008年(H20)	72	13,217,000	9,516,240,000,000	10%	72,000	
2015年(H27)	89	16,452,000	14,642,280,000,000	11%	97,900	約1.4倍
2025年(H37)	121	21,667,000	26,217,070,000,000	13.2%	159,720	約2.2倍
2035年(H47)	164	22,352,000	36,657,280,000,000	15%	246,000	約3.4倍

保団連政策部 試算